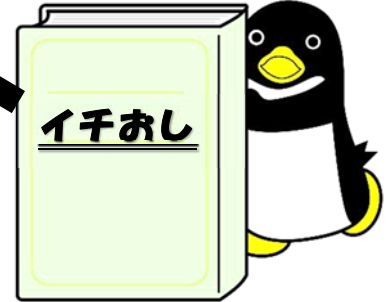


秋のはじまりは読書！

「うちの子が泣いてるワケ」

グレッグ・ペンブローク：著 波田孝介：著 新潮社
わが子の泣き顔を投稿するブログ、「うちの子が泣いてるワケ」。
爆笑！！そして、その理由に納得できる『写真集』。言葉で説明する
のは超困難！早く、図書館で立ち読みしよう。全部で100枚。
●200℃のオーブンにはいろいろとし→全力で阻止された→泣く
●変身ベルトをつけたのに仮面ライダーになれなかった→泣く

新着図書



先生方が「見本市」で選んだ本！ 第1弾			夢をかなえる 小論文を書くために第3弾		
プロ美術家になる！	佐々木豊	芸術新聞社	ブラック企業 1. 2	今野春貴	文春新書
リアリズム絵画入門	野田弘志		生命と記憶のパラドクス	福岡伸一	文春文庫
池永康晟画集	池永康晟		がんばらない	鎌田實	集英社文庫
幻色のぞき窓	山本タカト		ニッポン景観論	アレックス・カー	集英社新書
だれでも書けるシナリオ教室	岸川真		これからの「正義」の話をしよう	マイケル・サンデル	ハヤカワ文庫
戦後70年 岩波ブックレットで考える第1弾			日本型ポピュリズム	大嶽秀夫	中公新書
パレスチナ 戦火の中の子どもたち	古居みずえ	ブックレット	ヒンシュクの達人	ビートたけし	小学館新書
アートで平和をつくる	佐喜眞道夫		アラカルト		
戦争って、環境問題と関係ないと思ってた	田中 優		ゾンビの科学	スウェイン	インターシフト
音楽を知る！音楽で知る！ 第2弾			すごい！日用品&雑貨カタログ299 まるまる一冊保存版		日経BP社
野生のオーケストラが聴こえる	クラウド	みすず書房	九州遺産近現代遺産編	砂田光紀	弦書房
19世紀パリのサロン・コンサート	福田公子	北星社	ちいさな おおきな き	夢枕獏：作	小学館
響け！ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部へようこそ	武田綾乃	宝島社文庫	平和を考える こども俳句の写真絵本	小学館：編	小学館
メディア化ブック 秋の第1弾！			東京藝大物語	茂木健一郎	講談社
民王	池井戸潤	文春文庫	若沖	澤田瞳子	文藝春秋
ガールズ・ステップ	宇山佳佑	集英社文庫	残像に口紅を	筒井康隆	中公文庫
癒し屋キリコの約束	森沢明夫	幻冬舎文庫	「日本文学100年の名作」 年代別に傑作作品を収録 全10巻 1巻：夢見る部屋 2巻：幸福の持参者 3巻：三月の第四日曜 4巻：木の都 5巻：百万円煎餅 第6巻：ベトナム姐 ちゃん 7巻：公然の秘密・・・		
海のふた	よしもとばなな	中公文庫			





戦後70年

第4弾 国際平和デー 9月21日

毎年9月21日は、国連が定めた国際平和デー (international day of peace)。通称ピースデーで、世界中の国と人が平和について考え、行動する日です。

そして、国連本部 (米ニューヨーク) には、日本から贈られた『平和の鐘』があります。



【鐘の由来】

1954年中川千代治さんが寄贈。中川さんはビルマ戦線を生き抜き、戦後、愛媛県宇和島市長を務めた。しかし、激戦で多くの人々が亡くなった中で、生き残ったことに苦しみを感じ、後半生を平和運動に捧げた。

注：工事のため移転していた鐘が、国連創立70年の今年、同じ敷地内の日本庭園に戻る。



ニューヨーク国連本部にある『平和の鐘』

こちらは、沖縄の鐘 HEIWAの鐘 (へいわのかね)

仲里幸広：作詞・作曲

よみがえれ あの時代へ
武器を持たぬことを伝えた
先人たちの声を
永遠に語り継ぐのさ
脅かすことでしか 守ることができないと
くり返す戦争 (つみ) 忘れゆく 愚かな権力
(ちから) よ
いつか (自由な空が)
虹かかる (翼ひろげゆく)
風に (高く大きな) 幸せ贈るだろう
ぼくらの生まれたこの地球に
奇跡を起こしてみないか
拳をひろげてつなぎゆく
心はひとつになれるさ
平和の鐘は 君の胸に響くよ

唄い踊り助け合った
振り向かず 笑い続けた
誇る島の魂を 永遠に守り抜くのさ
銃声が鳴り響き 海や大地が砕け散る
正義の叫び こだます フェンスを飛び越えて
君が (一人立てば)
変わるのさ (明日へ輝いて)
ずっと (未来の夢を) ここに残してゆこう
ぼくらの生まれたこの地球に
奇跡を起こしてみないか
拳をひろげてつなぎゆく
心はひとつになれるさ
平和の鐘は 君の胸に響くよ

知っ得1

シンガーソングライター仲里の楽曲。その後、白石哲也の編曲で合唱曲として、小中学校の合唱コンクールや卒業式で歌われている。

知っ得2

鐘のモデルは？
沖縄県・沖縄戦跡国定公園にある鐘。鎮魂と平和の願いを込めた音色が、摩文仁の丘に響く。

知っ得3

歌詞の「フェンス」は、沖縄にある米軍基地のフェンス。